

3 自らのライフスタイルにあった生き方づくり

(1) 多様な働き方の実現

No.	施策(事業)名	記入課	内容(第1期計画記載)	実施状況(元年度)	評価	今後の取り組み	方向性
1	子育て中の親が働きやすい環境づくり	子育て支援課	子育てしながら働きやすい環境を整えるため、企業や労働者に対して、フレックスタイム等の多様な働き方や育児休業制度、関係法令に関する情報提供を、県と連携のもと行います。	子育てしながら働きやすい環境を整えるため、企業や労働者に対して、フレックスタイム等の多様な働き方や育児休業制度、病児保育事業、ファミリー・サポートセンター事業などの子育て支援に関する情報提供を行いました。	A	子育てしながら働きやすい環境を整えるため、企業や労働者に対して、フレックスタイム等の多様な働き方や育児休業制度、関係法令に関する情報提供を、県と連携し行います。また、「子育て応援の店」への登録を推進します。	継続
1	子育て中の親が働きやすい環境づくり	商工・企業立地課	子育てしながら働きやすい環境を整えるため、企業や労働者に対して、フレックスタイム等の多様な働き方や育児休業制度、関係法令に関する情報提供を、県と連携のもと行います。	市HPへの掲載やイオン小郡SC内に設置したおごおり情報プラザにチラシを設置する等して関係法令や制度に関する情報発信を行った。	B	引き続き、関係機関と連携し、積極的な情報発信に取り組んでいく。	継続
2	女性の職場復帰・再就職のための支援の充実	商工・企業立地課	出産や子育て後の再就職を支援するために、職業安定所等の関係機関との連携により、再就職に関する情報提供や支援体制の充実を図るとともに、広報紙や市のホームページにおいて相談窓口等の紹介を行います。 また、パソコン講座などの、女性の職場復帰・再就職を支援する女性再チャレンジ支援事業の充実を図ります。	子育て女性就職支援センターをはじめとする関係機関と連携して、就業支援を行うとともに、市広報紙やHPへの記事掲載、イオン小郡SC内に設置したおごおり情報プラザにチラシを設置する等して情報発信を行った。	B	引き続き、関係機関と連携して就業支援を行うとともに、その情報発信を行っていく。	継続
2	女性の職場復帰・再就職のための支援の充実	生涯学習課	出産や子育て後の再就職を支援するために、職業安定所等の関係機関との連携により、再就職に関する情報提供や支援体制の充実を図るとともに、広報紙や市のホームページにおいて相談窓口等の紹介を行います。 また、パソコン講座などの、女性の職場復帰・再就職を支援する女性再チャレンジ支援事業の充実を図ります。	育児や介護などで職業生活からいったん離れ、再び社会参加や社会活動を考えている女性や、キャリアアップを考えている女性を対象に、おうち起業応援講座やチャレンジパソコン講座(MOS検定対策コース)など、女性再チャレンジ支援事業で計7講座を実施。延べ674人が受講。	A	女性再チャレンジ支援事業のひとつ、「おうち起業応援講座」においては30年度と元年度にワンデーショップを行ったことで、受講生によっては、講座終了後マルシェに出店するなど、自主的な活動を支援することができた。しかし今後、講座終了後の受講生(卒業生)の活動をどのように広めていくか、活動の拠点をどうするか等、多くの課題がある。	継続
2	女性の職場復帰・再就職のための支援の充実	図書課	出産や子育て後の再就職を支援するために、職業安定所等の関係機関との連携により、再就職に関する情報提供や支援体制の充実を図るとともに、広報紙や市のホームページにおいて相談窓口等の紹介を行います。 また、パソコン講座などの、女性の職場復帰・再就職を支援する女性再チャレンジ支援事業の充実を図ります。	図書館による就労支援 関係図書の配置・求人情報(ポスター・チラシ・情報誌の設置等)等提供の充実を行った。	B	・図書館への来館の機会が少ない人に向けても、事業の周知をさらに行い、より多くの方への支援の充実を図る。	継続
3	不安定就労若年者等に対する意識啓発・職業訓練の充実	商工・企業立地課	長期にわたり不安定な就労状況が続ける不安定就労若年者(フリーター)やニートと呼ばれる若年非就労者に対して、職業意識の啓発に努めます。 また、関係機関と連携しながら、児童・生徒に対する職業啓発を行います。	市広報紙やHPへの記事掲載、イオン小郡SC内に設置したおごおり情報プラザにチラシを設置する等して情報発信を行った。	B	引き続き、関係機関と連携して就業支援を行うとともに、その情報発信を行っていく。	継続
3	不安定就労若年者等に対する意識啓発・職業訓練の充実	教務課	長期にわたり不安定な就労状況が続ける不安定就労若年者(フリーター)やニートと呼ばれる若年非就労者に対して、職業意識の啓発に努めます。 また、関係機関と連携しながら、児童・生徒に対する職業啓発を行います。	小・中学校の授業において、職場見学や職場体験学習を行った。	B	引き続き、関係機関と連携しながら職場見学や職場体験学習を行っていく。	継続

3 自らのライフスタイルにあった生き方づくり

(2) 男女共同参画社会の実現

No.	施策(事業)名	記入課	内容(第1期計画記載)	実施状況(元年度)	評価	今後の取り組み	方向性
1	男女共同参画計画に基づく事業の推進	秘書広報課	「第2次小郡市男女共同参画計画」に基づき、「男女共同参画社会のための意識づくり」、「男女の人権が尊重される社会づくり」、「ともにいきいきと働き、支え合う社会づくり」、「ともに健康で安心して暮らせる環境づくり」、「ともに参画するまちづくり」を推進します。また、いつでもどこでもだれでも参加・参画できる魅力ある学級や講座を男女共同参画の視点に立って実施します。	・男女共同参画セミナーを年2回開催した。(6月開催:51人、11月開催:30人) ・広報紙に、男女共同参画に関する啓発ページ「女と男パートナーシップ」を年8回掲載した。 ・ホームページ、SNSに男女共同参画に関する情報(条例、計画、講演会、相談窓口など)を掲載している。	B	・男女共同参画セミナーや広報紙、ホームページ、SNSを活用し、引き続き啓発を行っていく。 ・より多くの人に関心を持ってもらうため、男女共同参画セミナーでのテーマや開催日時、広報紙で取り上げる内容、構成を工夫していく。	継続
1	男女共同参画計画に基づく事業の推進	生涯学習課	「第2次小郡市男女共同参画計画」に基づき、「男女共同参画社会のための意識づくり」、「男女の人権が尊重される社会づくり」、「ともにいきいきと働き、支え合う社会づくり」、「ともに健康で安心して暮らせる環境づくり」、「ともに参画するまちづくり」を推進します。また、いつでもどこでもだれでも参加・参画できる魅力ある学級や講座を男女共同参画の視点に立って実施します。	男女が共に働き、支え合える社会の実現に向け、女性対象の講座を7つ、男性対象の講座(料理教室)を1つ実施した。	A	生涯学習課においては、女性対象の講座が主となっているので、関係部署と連携を取りながら、取り組みを進めていく必要がある。男の料理教室では、単なる料理教室で終わっているため、男女共同参画の視点に立った進め方を行うことが求められる。	継続
2	男性の子育て参画の促進	子ども育成課	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割意識を払拭し、夫婦が協力し合いながら子育てができる環境をつくるため、男性料理教室、親子ふれあい教室など、男性が参加する子育てや家事に対する講座等を開催します。また、男性の育児休業取得の推進を通じて、男性の子育てへの参画を促します。	ようこそ赤ちゃん教室における家庭教育講話の実施(年6回、妊産婦とその家族対象) 男性が参加する子育てや家事に対する意識づけを行った。また、家庭教育学級の中で、年に2回お父さん向けの親子参加型の講座を実施した。	A	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割意識を払拭し、夫婦が協力し合いながら子育てができる環境をつくるため、男性料理教室、親子ふれあい教室など、男性が参加する子育てや家事に対する講座等を開催します。また、男性の育児休業取得の推進を通じて、男性の子育てへの参画を促します。	継続
2	男性の子育て参画の促進	コミュニティ推進課	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割意識を払拭し、夫婦が協力し合いながら子育てができる環境をつくるため、男性料理教室、親子ふれあい教室など、男性が参加する子育てや家事に対する講座等を開催します。また、男性の育児休業取得の推進を通じて、男性の子育てへの参画を促します。	各校区コミュニティセンターで、男性向け料理教室を開催した。また、男性向け料理教室の参加者が中心となって、男性の料理サークルを立ち上げる際の支援を行った。	B	引き続き、賛成向け料理教室の開催等を通して、男性の家事・育児への参画を促す。また、まちづくり協議会の拠点施設及び事務局として、青少年育成部会等の支援を行うことにより、性別や年齢を問わず子育て・青少年育成に携わることができる地域づくりを推進する。	継続